

令和 7 年度 MTDLP 実践者研修会（事例検討会） 事例発表者を募集いたします

※ 発表は MTDLP 基礎研修修了者に限ります

開催日 令和 7 年度 ① ~~7～8~~月頃
② ~~10～11~~月頃
③ 1～2 月頃

を予定しています。



※ 集まった発表希望者との相談で、開催日時を調整いたします。

※ 「Zoom での Web 研修」 または 「会場での対面研修」

参加費 事例発表者 ￥2,000

対 象 R7 年度の日本作業療法士協会費と都道府県士会費納入済みの作業療法士

※未納者の発表は出来ません。

申し込み方法 以下の Google フォームより受付をして下さい。

その後、メールで開催日などのやり取りをいたします。

<https://forms.gle/E42Af83fqroMnNKq7>



発表者募集の締め切り 11 月 8 日（土）

《事例発表者は、MTDLP 基礎研修修了者に限ります》

※当日の発表は1人45分（口述発表10分＋小グループディスカッション35分）とし、紙面のみに実施します。

※資料を作成する前に必ず OT 協会ホームページ「会員ポータル」→「事例登録」内に掲載されている「事例報告書作成の手引き 2.1 版 生活行為向上マネジメント」「MTDLP 事例報告集」をお読み下さい。

※以下の資料を作成し、尾崎までメール添付して下さい。

資料 A：MTDLP の経過をまとめた簡易的な抄録（Word）・・・A4 1 枚程度

《事例タイトル》【報告の目的】【基本情報(事例紹介)】【作業療法評価】【介入の基本方針】【作業療法計画】【介入経過】【結果】【考察】の項目について文章でまとめて下さい。

※本人と家族のニーズを文章に入れるようにして下さい。

資料 B：生活行為向上アセスメント演習シート・・・A4 1 枚

資料 C：生活行為向上プラン演習シート・・・A4 1 枚

資料 D：生活行為課題分析シート・・・A4 1 枚

資料 E：（ある方のみで結構です）経過が分かる作業場面の写真、環境評価などの参考資料

⇒発表者は事例発表の際、対象者から事例発表に関する同意を得て、署名を必ずいただいております。

発表者の手元に保管しておいてください。（日本作業療法士協会ホームページから同意書をダウンロードできます）

⇒発表後、『MTDLP 研修修了証』が日本作業療法士協会より発行されます。

※通所リハにおいて「生活行為向上リハビリテーション実施加算」を算定出来るようになります。

次のステップとして、日本作業療法士協会「MTDLP 指導者養成制度」での口頭試問の合格を目指して下さい。

★ 発表者は、県士会への履修申請書の提出により現職者共通研修「事例報告」の履修が可能です。

<https://otsizuoka.sakura.ne.jp/kaiin/archives/1851> ご参照ください。